

2022 CAFネビュラ展 オープニングセレモニー



■ 概況 ■

2022CAFネビュラ展オープニングセレモニーは11月6日 11:30より展示会場にて開催しました。昨年に引き続きコロナ感染対策として会場は、壇上や椅子は空間を取るように配置しました。開催前に観覧の方々、会員方々が数十名会場に集まり出しました。開催で

す、司会は会員の倉藤紀子さんが進行します。始めに本田貴侶代表の挨拶を行います。次に来賓の美術評論家、赤津侃氏の挨拶を行いました。そしてゲスト作家「安田侃氏」「森山裕之氏」の紹介です。安田侃氏を本田代表が紹介します。安田氏と藝大時代の話をされました。森山裕之氏を会員の小田原さんが紹介し

ます。パリの出会い、その後の交流が続く話は、時間が足りなくなるほどの興味深いお話でした。

セレモニー最後に2022CAFネビュラ展で代表を退任する本田氏に花束贈呈が行われました。

(CAF.N出版部)

2022 CAFネビュラ展 関連企画 ワークショップ「しめかざり つくろう」



■ 概況 ■

昨年に引き続き「しめかざり つくろう」のワークショップを開催することになりました。

参加者が思いの他多かったです。秋の穏やかな午後です。美術館前の公園には、若い子連れの人も多く、参加者に券を発行しましたが直ぐになくなるくらいでした。大人も子供も競うように、飾るために用意した材料を輪飾に思いおもいに付けていました。

稲わらで作るしめ縄作りです。手を水に着けて、元

をしっかり結んで2つに割り纏うのです。少し難しいのですが、皆さん一生懸命です。たくさん用意した稲わらも最後には無くなりました。参加者の多くにとって初めての稲わらのしめ縄です。自分の手で作ること、工夫すること、日本の伝統であることの楽しさを知ってもらえたのではないかと思います。稲わらは、米を刈り取る時に取って置いていた、きれいな状態の物でした。いろいろな飾りの材料を事前に作るために会員の皆さんの協力、そして参加者の盛り上がり、ワーク

ショップに携わった者として意義があったと思っています。(金原京子)

■ 記録 ■

■ 名称=知って・作るワークショップ

「しめかざり つくろう」

■ 会期=2022年11月6日(日)

■ 会場=北浦和公園 疎林広場

■ 参加者=280名